

インボイス制度に関する調査

— 結果報告書 —

令和5年11月



甲府商工会議所

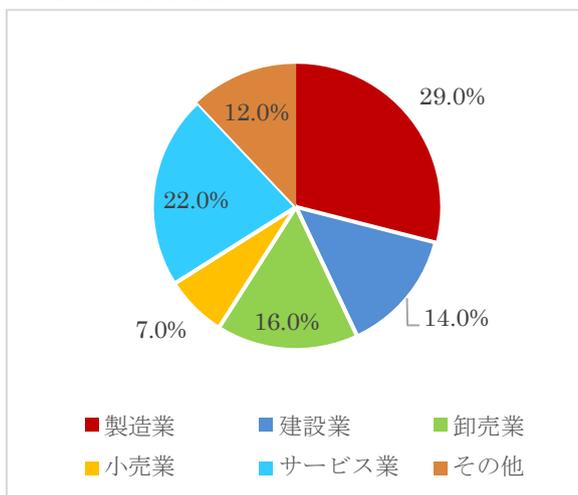
◆調査要領

1. 調査の目的： 令和5年10月よりスタートしたインボイス制度（適格請求書等保存方式）に関する企業の対応状況及び課題・懸念事項等について把握するために実施。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和5年11月1日(水)～11月8日(水)
4. 調査対象： 当所会員264事業所
5. 調査方法： FAX調査
6. 有効回答数： 100事業所
7. 有効回答率： 37.8%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第2位で四捨五入

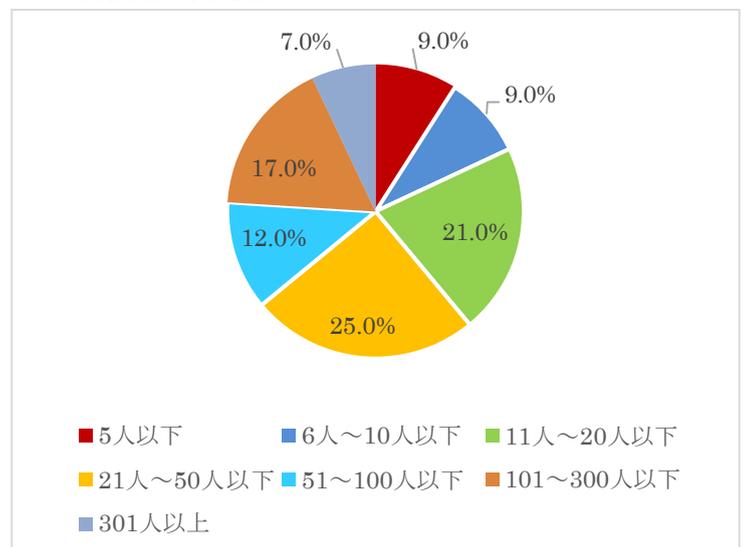
＜規模・業種別回答数＞

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	その他	合計
5人以下	3	1	1	1	0	3	9
6～10人	3	2	2	0	2	0	9
11人～20人	4	3	5	2	4	3	21
21人～50人	10	6	2	0	6	1	25
51人～100人	5	0	4	1	2	0	12
101人～300人	3	1	2	2	5	4	17
301人以上	1	1	0	1	3	1	7
合計	29	14	16	7	22	12	100

＜業種別構成比＞



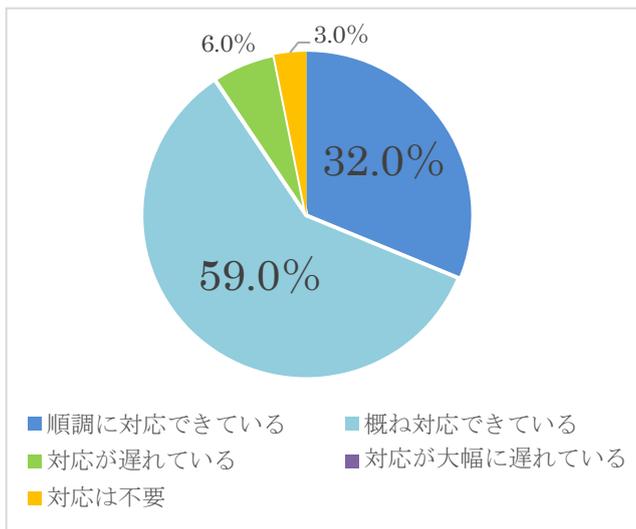
＜規模別構成比＞



◆結果概要

Q1. インボイス制度への対応状況はいかがでしょうか？

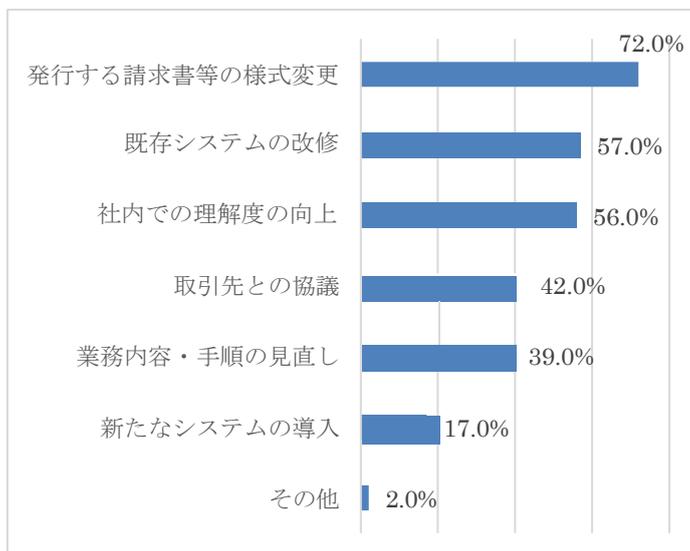
◆『順調に対応できている』(32%)、『概ね対応できている』(59%)
を合わせ、約9割の事業所が制度への対応ができていると回答。



項目	回答数	構成比(%)
順調に対応できている	32	32.0
概ね対応できている	59	59.0
対応が遅れている	6	6.0
対応が大幅に遅れている	0	0.0
対応は不要	3	3.0
その他	0	0.0
合計	100	100.0

Q2. インボイス制度が始まるとことにより対応したことはありますか？(複数回答)

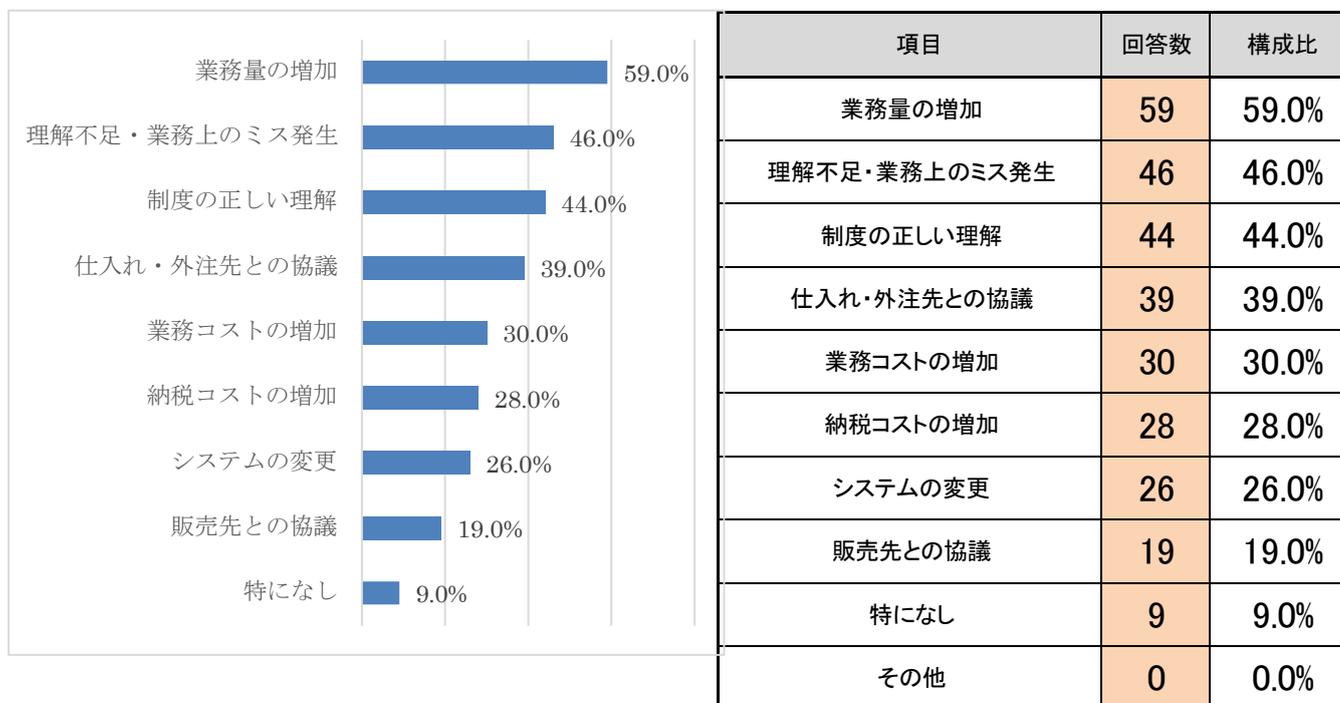
◆『発行する請求書等の様式を変更』(72%)は7割を超える事業所
で対応。『既存システムの改修』、『社内での理解度の向上』、『取引
先との協議』など、対応事項は多く幅広い対応が必要であることが
が窺える。



項目	回答数	構成比
発行する請求書等の様式変更	72	72.0%
既存システムの改修	57	57.0%
社内での理解度の向上	56	56.0%
取引先との協議	42	42.0%
業務内容・手順の見直し	39	39.0%
新たなシステムの導入	17	17.0%
その他	2	2.0%

Q3. インボイス制度に関する課題・懸念はありますか？（複数回答）

◆『業務量の増加』が59%と最多。『理解不足・業務上のミス発生』、『制度の正しい理解』を課題・懸念事項として上げている割合が高い。



◆10月からスタートしたインボイス制度については、9割以上の事業所で対応できてい状況が窺える。

請求書等のインボイス様式への変更に始まり、既存システムの改修や取引先との協議など対応事項が多く、業務量・コストの増加が懸念されている。

また、インボイス制度の複雑さから、理解不足による業務上のミスの発生を懸念しており、制度の正しい理解が課題であることが窺える。

甲府商工会議所では、中小・小規模事業者に対しセミナーや手引きの作成等を通し、インボイス制度の周知や理解度の向上、対策の強化について支援してきた。今後も対応状況を把握しながら、引き続き適切に支援していきたい。